

草津市教育委員会会議録

令和元年8月臨時会

(8月27日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊 正
	委員	周防直美
	委員	檀原 泉
	委員	稲垣明美

議事参与	教育部長	居川 哲雄
	教育部理事（学校教育担当）	畑 真子
	教育部副部長（総括）	山本 智加江
	教育部副部長（学校教育担当）兼 学校政策推進課長	江 竜 眞 司
	教育総務課長	田 中 歩
	学校教育課長	京 近 武 史
	学校教育課副参事	野 瀬 めぐみ
	学校教育課専門員	尾 関 大 応

事務局	教育総務課総務係長	門 脇 弦 太
-----	-----------	---------

開会 午前 9時30分

川那邊教育長

それでは、ただいまから草津市教育委員会 8月臨時会を開会いたします。
なお、本日は、中西委員から欠席届が出ておりますことを御報告いたします。

—————日程第1—————

川那邊教育長

日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思っております。御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議がないようですので、8月臨時会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長

次に、日程第2、付議事項、議第43号 令和2年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについてを議題といたします。
事務局の説明を求めます。

学校教育課長

学校教育課、京近でございます。
議第43号 令和2年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについてを説明申し上げます。
公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっております。
資料13ページから14ページをお開きください。
本市が所属する、教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。15ページが本年度の協議会委員の皆様です。
次に、本日議決を求めること、並びに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明いたします。16ページが今年度の経緯となっております。

ります。

本年度は、小学校用教科書全教科の採択替えの年であり、外国語の教科用図書を初めて採択する年でもあります。中学校使用教科用図書においても4年に一度の採択替えを行う年でもあります。さらに、小中学校特別支援学級一般図書の採択替えを行います。現在までに協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、5月30日から7月11日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月30日と8月2日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月2日には第二採択地区としての議決を行いました。

中学校については、昨年度の検定で新たな図書の申請がなかったため、平成27年度検定合格図書の中から採択を行うこととなります。来年度、学習指導要領改訂に伴う採択替えを行うことから、2年続けての採択替えは、子どもに混乱を招く可能性があること、学校現場に大きな負担がかかること、現在使用の教科用図書について、学校現場で不具合が起こっている声は上がっていないことの説明を事務局より受け、平成27年度の調査研究報告と4年間の実績を踏まえて現在使用の教科用図書を選定し、第二採択地区として議決を行いました。

小学校は、議案書4ページから5ページが通常学級で使用するものの一覧と選定理由です。6ページから8ページは、特別支援学級で使用する一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、外国語科において「あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」「ABCえほん」「CDつきはじめての英語の歌 歌でおぼえるらくらくイングリッシュ」「CDつき英語でもう！はじめてのめいさく The Rolling Rice Ball おむすびころりん」の4冊が新たに選定されました。

続いて、中学校は、9ページから10ページが通常学級で使用するものの一覧と選定理由です。中学校特別支援学級の一覧は、11ページから13ページです。道徳科において「卒業しよう！めんどくさがり 学校では教えてくれない ピカピカ 自分みがき術」「こころを育てるおはなし101」の2冊が新たに選定されました。なお、弱視学級については、道徳科において通常学級で採択された教科用図書の拡大版と、全教科において文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

続いて、協議会において、調査委員長より報告されました調査結果の概要について説明します。

調査の観点の数は違いますが、知識および技能、思考・判断力、表現力、学

びに向かう力、人間性などに係る内容の取り扱いの観点、資料や学習指導にかかわる構成等にかかわる観点、第二採択地区の観点の三つの項目でそれぞれ調査を行っています。第二採択地区の観点とは、多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現代的な諸課題の工夫や配慮がなされており、第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいかどうかです。

まず、小学校の使用教科用図書の調査結果の概要を説明します。

初めに、国語でございますが、調査を行いました教科用図書は、「東京書籍」「学校図書」「教育出版」「光村図書」の4者から発行されたものです。

「言葉の使い方や成り立ちなどをバランスよく取り入れており、言語事項の記述が豊かである。また、身につけるべき指導事項が明確であり、情報の扱い方に関して、視点を意識しながら学習を進めることができる。教科書教材と本との関連が示され、読書の幅を広げられるよう工夫されている。現代的な諸課題についてテーマを決めて取り上げられている。」という点で、「光村図書」が最も適切であるという結果になりました。

次に、書写でございます。「東京書籍」「学校図書」「教育出版」「光村図書」「日本文教出版」の5者から発行された教科用図書から調査を行いました。

「姿勢や鉛筆の持ち方が身につくような工夫がなされ、字形や筆順に関する記述や写真が多い。学びを振り返り、目当てをもとに主体的に学ぶための工夫がなされている。場面や用途、筆記具の特徴に合わせた書き方に関する内容が充実している。カラーユニバーサル視点から判読しやすい配色である。環境や共生、人権や平和を意識した言葉や教材が扱われている。」という点で、「光村図書」が最も適切であるという結果になりました。

次に、社会でございます。「東京書籍」「教育出版」「日本文教出版」の3者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「学習課題・学習計画が効果的に配置され、学習の流れが児童の思考に合っている。また、資料は最新のデータが用いられ、写真や図も大きく鮮明であり、地域教材も第二採択地区の環境に近い教材が扱われており、内容をイメージしやすい。さらに、人権やいじめ、環境について身近な内容を扱い、主体的に話し合う活動が取り上げられている。」ということから、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

次に、地図でございます。「東京書籍」「帝国書院」の2者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「国土の様子が、見開き1枚に取り上げられたり、滋賀県の位置関係を多面的に考えたりする工夫がされている。方位磁針の使い方や地図の作り方が記載され、地域学習で活用しやすい。児童が主体的に地図になれ親しむ工夫がなされている。世界地図は、写真や言葉で各国の文化に触れている。自然災害や防災、環境について取り上げら

れている。」という点で、「帝国書院」が最も適切であるという結果になりました。

次に、算数でございます。「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」「日本文教出版」の6者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「基礎的・基本的な知識および技能を身につけられるように、公式等がシンプルにわかりやすく厳選されている。多様な解決方法を例示したり、説明や話し合いの場面を豊富に設定したりして、思考力・判断力・表現力の育成に適した構成になっている。写真・イラストが国際色豊かで多様性を認めている。既習事項の振り返りがしやすく、学び直しに効果的である。」という点で、「大日本図書」が最も適切であるという結果になりました。

次に、理科でございます。「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「信州教育出版」「啓林館」の6者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「学習や問題解決の流れが一目でわかるように工夫されており、児童や教師にとってわかりやすい配慮がなされている。学習内容が簡潔にまとめられ、児童のノートの見本となるように工夫されている。また、自己の成長を確認し、学びの深まりを実感できるように工夫されている。環境、防災、人権などへの配慮も適切で、全体的に文字や写真も大きくすっきりと見やすい。」という点で、「啓林館」が最も適切であるという結果になりました。

次に、生活でございます。「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「信州教育出版」「光村図書」「啓林館」「日本文教出版」の8者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「安全、防災に関する内容の取り扱いが適切である。豊富なデジタル教材が秀逸である。児童の素朴な気づきや多様な思考を引き出すための構成が工夫されている。多様な気づきを促すイラストや、学習活動や表現活動を具体的にあらわした写真を用い、何をどのように学ぶのかがわかりやすい。人権や福祉への配慮が見られる。」という点で、「啓林館」が最も適切であるという結果になりました。

次に、音楽でございます。「教育出版」「教育芸術社」の2者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「発達段階に応じて題材や教材が系統的に配列されている。1題材の中で、歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりが取り入れられ、音楽を形づくる要素について多角的に感じ取れるよう工夫されている。イラストや挿絵の色合いが優しく、楽譜に目がいきやすい配慮がなされている。我が国の郷土の音楽や諸外国の楽曲が系統的に配列され、我が国と諸外国との違いが対比しやすい。」という点で、「教育芸術社」が最も適切であるという結果になりました。

次に、図画工作でございます。「開隆堂」「日本文教出版」の2者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「材料や用具の基本的な扱い方について丁寧に示されており、発想のヒントとなるような写真や作品、コメントが多く掲載されている。造形遊びについて、系統的に配列されている。学びを生活へ結びつける工夫がなされている。SDGs、世界平和といった現代の諸課題を取り上げるとともに、人権や共生について考える視点が取り入れられている。」という点で、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

次に、家庭でございます。「東京書籍」「開隆堂」の2者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「話し合いなどの実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識や技能が習得できるように多様な例が示されている。単元の初めに目当てが示され、終わりには学習のまとめができるようになっている。児童が主体的に学習に臨めるようになっている。障害者スポーツや世界の生活、料理が紹介されており、他者理解を深めるようになっている。」という点で、「開隆堂」が最も適切であるという結果になりました。

次に、保健でございます。「東京書籍」「大日本図書」「文教社」「光文書院」「学研教育みらい」の5者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「学習指導要領の内容に即して簡潔に作成されており、技能が身につくようになっている。また、自分を見詰め、これからの生活に生かせる工夫がある。写真やデータが多く、思考を深めるのに適している。現代における諸問題（インターネット犯罪、自転車の加害事故、アレルギー等）を取り入れ、身近な問題から命・健康について考えられるようになっている。」という点で、「学研教育みらい」が最も適切であるという結果になりました。

次に、外国語でございます。「東京書籍」「開隆堂」「学校図書」「三省堂」「教育出版」「光村図書」「啓林館」の7者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「デジタルコンテンツややりとりの活動が豊富である。会話に必然性があり、目的意識を持つことができ、学習目標が明確である。自分のこと、他者との関わりのこと、世界との関わりのことがバランスよく配列されている。性差、国柄、髪の色、肌の色、男女の家事意識等について幅広く配慮されている。図や写真等の配置にゆとりがあり、見やすい。」という点で、「東京書籍」が最も適切であるという結果になりました。

次に、特別の教科道徳でございます。「東京書籍」「学校図書」「教育出版」「光村図書」「日本文教出版」「光文書院」「学研教育みらい」「廣済堂あかつき」の8者から発行された教科用図書から調査を行いました。調査により、「人権教育、いじめ防止の考え方が、文部科学省や県、第二採択地区の方針を踏まえたものになっている。発達段階に即した配慮がなされ、同じ価値項

目でも心情を耕すものから、態度や行いを考え、より良い実践へ導くようなものまで配列が工夫されている。教材と関連した情報を提供したり、体験的な活動や問題解決的な学習を促したりし、広く深く学習できるようになっている。」という点で、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、小学校特別支援学級における、令和2年度より新しく導入される外国語科につきまして、一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、次の4冊に決定しました。

1冊目が、あかね書房「あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」、2冊目が、戸田デザイン研究室「ABCえほん」、3冊目が、学研「CDつき はじめての英語の歌 歌でおぼえるらくらくイングリッシュ」、4冊目が、岩崎書店「CDつき 英語でようほう！はじめてのめいさく The Rolling Rice Ball おむすびころりん」です。「興味関心が持てるように、身近な場面を取り上げて親しみをもちやすい工夫があり、CDつきの絵本は、ネイティブな発音になれ親しむこともできる。また、曲を聴きながら楽しく手遊びなどで英語と触れ合うことができる。」などの理由で選ばれています。

最後に、中学校特別支援学級の平成31年度道徳一般図書として4冊が選定され、そのうち2冊「やっぱり こういうときどうするんだっけ」と「未来に向かう心が育つおはなし」が供給不能となっています。そのため、供給不能となった一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、新たに2冊を道徳の一般図書として加えました。1冊が日本図書センターの「卒業しよう めんどくさがり」と、もう1冊が高橋書店の「こころを育てるおはなし 101」です。選定理由といたしましては、「日常的に抱く面倒くさいという感情を題材に、解決に向けて系統を立てて構成されている。また、生徒がいろいろな物語を通して、多様な考え方や感じ方に接することができ、物事を多面的に考えることができる。さらに、自分で考えを深め、判断できる力を育むことができる内容となっている。」などの理由で選定されております。

以上、教科用図書第二採択地区協議会における全ての種目の調査結果について説明を申し上げます。御審議をよろしくお願いいたします。

川那邊教育長

それでは、ここから種目ごとに御意見、御質問をお伺いしたいと思います。まずは、国語について御意見、御質問はございませんか。

稲垣委員

特にはないのですが、前回改訂から教科書が光村に変わっておりますので、今度も「光村図書」に選定されたということは、ある意味子どもたちの

学習の流れとしてつながるものがあるのかなと思いました。それから、草津型アクティブラーニングで授業改善というところで、読書指導というのは大変大事ですし、「光村図書」に限っては読むことということで、物語文がたくさん出てまいります。親子で一緒に読む機会もありましょうし、それもQRコードで音読してくれる部分もあるということで、大変効果的に学習ができるのではないかと考えています。特に、1年生は平仮名に初めて出会う。粒読みでする子どもたちも、この1学期が終わった段階でもおります。そういう子どもたちがこういうQRコードを使って親御さんと一緒に読むという機会がつけられるという工夫がされているところにメリットがあるなど感じました。

檀原委員

もう全く今おっしゃっていただいたとおりで、私たちの子どものころから「光村図書」のこの教科書はよく使っておりましたし、やはり文芸作品が多いということは、読書活動につながっていく意味でも非常にいい教材かなと思います。ただ、一つ草津でやはりMIMということで、やはり丁寧に1年生の段階では導入のところに配慮していただける状況が整っているということですので、そういうことも勘案しながら効果的に使っていればいいかなと考えています。

川那邊教育長

私も協議会の方に参加いたしまして、教育委員で事前に学習した内容等について意見を述べました。その中で、いわゆる定番教材というのが親子一緒に学ぶ一つの手がかりになるのではないかとことや、あるいはQRコードが今教科書に出ておりますけれども、そういったもので朗読の音声が開けたりと、そういう意味で光村はどうですかというような質問をさせていただきました。私たちが学習したその内容にも非常に整合するという、そういう回答でございました。

国語、ほかよろしいですか。

では、国語についてはそれでよろしいでしょうか。

それでは、国語について、質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、書写について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

事前の学習会の中で、いろいろ教科書が5種類出ておりましたが、私もやはり「光村図書」のものが一番いいなという印象を持っておりました。やはり、滋賀県で教育の中で書道をされている中で、やはり伸び伸びとその子らしく書くということを大切にされているというところに一番合致している教科書が「光村図書」だったので、今回それが採択されてよかったなというふうな印象を持っております。

稲垣委員

採択がたまたま光村だったのですけれども、国語が「光村図書」で書写も光村ということは、子どもたちの文字に対する環境というのがつながっているように思いますので、ある意味効果を期待したいなと思います。どの教科書会社もとくにそういうところは配慮されていると思うのですが、こういう形で採択が決まったということは、これからの学習に伸びが感じられるなど思っております。

川那邊教育長

ほかいかがですか。よろしいでしょうか。書写はそれでよろしいですか。

それでは、書写についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、社会についてでございます。御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

社会科の中では、やはり地域の湖南消防というのが「日本文教」の3年生のところで出てきておりまして、聞いておりますと、日本文教というのは関西でも非常に人気が高い教科書会社であるということで、やはりそのあたりの編集が地域に住んでいる子どもたちにとってはなじみやすいという印象を持っております。

それともう一つ、教科書会社によりましては、6年生になりますと歴史と地理的なものが二つに分かれている教科書もございましたが、この「日本文教」に関しましては、教科書の順番に教えていってバランスよく教えられるという、教える側の意味でも割と迷うことなくやれるのではないかなというふうにも感じました。

稲垣委員

今回選ばれた教科書は、滋賀県との関連性というものは大変高いですので、子どもたちにも身近に感じられる環境が整っているということ。それから、ページ内の文章が活動内容の本文、児童の発言、働く人々という3部構成というところは、問題発見であるとか主体的な学びにつながるものかなと感じさせていただきました。

周防委員

協議会の方に出席させていただいたのですが、社会の「東京書籍」だけが5、6年生分冊になっていまして、分冊になっている方が子どもが学校へ持っていくのに軽いからいいのかなという思いも最初は持っていたのですが、やはり振り返りをするときに、すごく人権のことなどを公民で学んでから、また歴史を学んでいくうちに振り返れるというような場合もあるので、1冊の方が望ましいというふうなお話を聞きまして、納得しました。

川那邊教育長

私たちの事前の学習会の中では、部落問題学習をどう扱っているかという話し合いもさせていただきましたが、草津市では部落問題学習草津市モデルプランというのを策定しております。そこには、例えば解体新書であったり、身分制であったり、そういった内容があるのですが、そういったことについて質問をしてみました。すると、どの教科書も充実はしているということでしたが、私たちの事前の感想的な話し合いになりますけども、「日本文教出版」が一番草津が行っている授業実践により近いのではないかと。私たちが見た観点では、やや深いところが記されているのではないかなという、そんな感想を持ちましたので、報告をさせていただきます。

草津型アクティブラーニングの授業というのを草津では進めておりますが、事務局の方から見てその辺どんな感じでしょうか。

学校教育課長

草津型アクティブラーニングで授業改善をしていこうということを草津市は進めております。社会科の学び方について、この「日本文教出版」は巻頭で詳しく説明されておりますので、児童が学習の見通しを持ちやすいというふうに思います。また、單元ごとに学習課題、学習計画が効果的に配置されていますので、子どもたちにわかりやすい学習の流れになっていると思いますので、本市の目指す授業改善に使えると思っております。

川那邊教育長

ほか、社会についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、社会についての質疑は以上とさせていただきます。
続きまして、地図について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

今回、地図を出されている会社が二つやったのですけれども、比べてみますとやはり一番大事なことは、地図の中の書いている情報が見やすいということが非常に重要やと思いました。その中では、やはり「帝国書院」の方が非常に見やすいのと、それからもう一つ大事なポイントとしては、京阪神の例えば奈良であったり京都であったり大阪であったりというところの都市を、一つの地図の中に拡大して表示されているページがあったのですが、やはりそういうところが「東京書籍」ではちょっと見にくいというか、2ページにこう間に閉じているところに重なっていたりとかいうこともありましたし、たくさんの情報が詰め込み過ぎているようなところもあったのですが、「帝国書院」の方は非常にその辺がすっきりと見やすかったので、やはり一番大事な見やすいということ。それから、京阪神に近いというところの情報が多いということは、この地域で勉強する子どもにとっては非常に有利であるなと感じました。

稲垣委員

2点あります。1点は、「帝国書院」の方が色合いが目によしくて、子どもたちもそのいろいろな場所、ポイントを見つけやすい色合いになっていて、見やすいのではないかなと感じました。それから、一番最初の見開きに日本地図、日本の国土はどこまであるのだということが切り刻んではなく、1面として見られるというよさもあるのではないかと思います。

川那邊教育長

地図についてはよろしいでしょうか。

それでは、地図についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、算数について御意見、御質問はございませんか。

算数も、草津型アクティブラーニングによる授業改善を行う上で、大変大事な教科になると思うのですが、事務局として草津型アクティブラーニングと教科書の関係について何か御意見ありましたらお願いします。

学校教育課長

「第日本図書」の教科書は、目当てがはっきり示されており、考え方に焦点を当てたまとめ、発見、考え方というものを設定しております。また、数学的な見方、考え方を意識できるように、また工夫されています。考え方の例示の共通点やよさを考える課題が多く、巻末シートにひらめきアイテムを活用できるように考えられています。また、例題とか問題の出題形式が多様でありますので、そういう面もいいかなと思っております。じっくり深く学び合おうというところで、多様な解決方法を例示したり、説明や話し合いの場面を豊富に設定したりして、思考力・判断力・表現力の育成に適した構成になっています。子どもたちが考え方を共有したり協働したり戦わせたりという活動に十分浸れるのではないかなというふうに期待しています。

稲垣委員

今回採択された教科書は、思考力・判断力・表現力に適しているというふうに書かれておまして、確かに教科書の奇数ページに問題提起がされて、具体的な例示というものが次ページになっているというのは、答えを見てしまう。ペラペラ見ればわかるのですが、こういう構成というのは子どもにとってやはり草津型アクティブラーニングに沿っている学びの一つではないかなと思えました。それから、もう1点につきましては、今回採用された教科書は分冊ではなく全て1冊ということで、年間通して学習が振り返れるよさもあるのですが、かなりの重量になりますので、現場の子どもたち、教師の方への御配慮というか、そういう点もまたうまくクリアできるかという点も思います。

檀原委員

私も今回、算数は6出版社があるのですけれども、幾つか迷うところもあっ

たのですが、そのうちの一つに一番最初に子どもたちが1年生で算数に入る導入部が丁寧に授業ができるかというところをちょっと注目していたのですが、大日本図書も非常に丁寧に1年生が最初に学ぶスタートを切れるという内容であるということで判断しております。また、先ほど事務局のお話もありましたが、ひらめきアイテム集というところもアクティブラーニングや算数というものへの広がりを考える上でも役に立つのではないかなと思います。

川那邊教育長

本市の学校では、日常生活とつなげながら算数科を学習していくことや、日常の素材を用いて課題をつくっていくというような取組がなされていて、その辺この「大日本図書」においても考え方としてそういうものが多く取り入れられているというようなことも、私たちも事前に学んでおりますので、この教科書についても私たちが協議した、学習した教科書と合うのではないかなという感想を持ちました。

ほかよろしいですか。

それでは、算数についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、理科について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

今回採択された「啓林館」の理科の教科書は、非常に実験をたくさん取り入れるような教材になっておりまして、ある意味実際に予想を立てて、また自分たちで何でそうなるのか考えるというようなベースになるような教材になっているかなと思います。先生方も腕の見せ所であるとともに、子どもたちが理科好きになってほしいという内容にも合致するのではないかなと思います。

稲垣委員

今回採用されたのには、QRコードというのが大変効果的に配置されているというふうに見ました。草津もICT教育に大変熱心に取り組んでおられる点、1人1台のタブレットはないですけども、そういう傾向がこれから見られていく中で活用されていくのかなと思いました。それから、他教科との関連ですけども、4年生の保健で人体のことを勉強すると思います。それが5年生になってより詳しく学習するところへのつなぎの絵や図、写真等が適切に配置されているのではないかなと思いました。

川那邊教育長

よろしいですか。

協議会の方では、草津市からの質問として一つは、問題解決的な構成になっているかということ。それから、実験やあるいは実生活につながるようなそういう振り返りになっているか。あるいは素材になっているか。教材になっているかということ。そして、QRコードですね。今、話が出ておりましたQRコ

ードが充実しているか。特に理科の場合は、実験の仕方とかがQRコードで見ることができましたので、大変わかりやすく興味も高まるであろうと。そんなことを質問させていただきました。啓林館については、そういった内容が充実しているというような回答もいただきましたので、私たちが事前に学習した内容とも一定整合するのではないかなと感じました。

では、理科についてはよろしいでしょうか。理科の質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、生活についてでございますが、御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

生活科に関しては、7者という中での選定で、非常にいろいろ特徴があったのですけれども、私の印象としては非常に啓林館は字が読みやすく、子どもたちが最初に理科や社会的な要素を学ぶのにはふさわしいのではないかなという印象はあります。ほかにもなかなか優れた教科書もありましたが、啓林館は理科でも同じ会社でされていますので、先ほど稲垣委員さんからもおっしゃったように、やはり連携していく中で共通する内容が含まれていることも、子どもたちにとってはスムーズではないかなという印象は持ちます。

稲垣委員

今回採用された教科書会社の見たいところが写真で実物像として、イラストではなくあらわれていると感じました。やはり見せたいものはイラストよりも写真で、より実物に近い方が良いと思います。やはり子どもたちは実体験する部分が大きいのですので、それがいいなということ。それから、大変教科書のサイズがばらばらにどの会社もいろいろあるのですけれども、大変持ちやすいコンパクトなサイズではないのかなというのも思いました。それから、やはり「啓林館」は先ほどの理科と同じでQRコードというのも採用されているようです。ただ、低学年でどれだけのそのQRコードが必要かという面はあるのですけれども、逆に指導者の立場になりますと、それを大きな画面にぼんと出してあげられるよさがあるので、別に子どもたちがこれを使わなくても、指導者側からすると使いやすさというのものもあるのかなと感じました。

川那邊教育長

協議会では、私もこの生活科の委員長が、QRコードが充実しているということで「啓林館」というふうにおっしゃってくださったのですけれども、直接的な体験を学びとする生活科において、QRコードの充実は大事な観点になるのですかというような質問もさせていただいたのですが、今、稲垣委員が述べられましたように、教師がQRコードを使ったその資料とかを大型テレビに液晶テレビに提示したりできるので、やはりQRコードは大事な観点ですと。

そんな協議会での委員長の言葉もありましたので、一定私なりの了解、納得度合いというのですかね。了解はさせていただきました。

ほかどうですか。

稲垣委員

ただ、生活科は、社会と理科だけに行くのではなくて、総合的な学習であるとか国語や算数にも関連する教科であるということで、理科だけが重要ではない。全ての教科を含んだ生活科ですので、そういう意味で広がりというのは大事かなと思います。

川那邊教育長

それともう一つ、私この委員長の報告の中で、教科書の大きさを言われたのですね。確かに私たちの学習会の中でいいなと思っていた教科書は、大判なのです。説明を聞いていると、その大判過ぎて引き出しに入らないというようなデメリットがあると。じゃあ、実際にもしそういう教科書を採択したらどうするのですかという質問をさせていただいたのですが、すると、学校に置いておくか学校のロッカーの上に並べておくか、そういう使い方もありますけれども、やはり余り大き過ぎるとするのは低学年の子にはどうかという、調査委員の話もありましたので、それも一応の了解はさせていただきました。全体的にほかの教科書も含めて大判になったり重くなったりというのがあるのです。資料が充実してカラーになったりしていますと、そういうことは当然出てくるのですが、またその扱いについては学校の方でいろいろ指導はあると思いますけども、これから考えていく必要があることだと思いました。

よろしいでしょうか。

それでは、生活科についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、音楽について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

音楽の教科書は2者のみでしたので、二者択一という形になるわけなのですが、やはり比べてみますと、「教育芸術社」の今回採択される予定のものの方が、非常に内容的に充実しているなというふうな印象を受けました。それと、やはりちょっとこれは特徴的かなと思うのですが、各学年とも日本の国、国歌の君が代についての学ぶというページがありまして、非常にそういうところ辺は重要視されているんだなというイメージがしました。やはり、音楽の教科書は、最終的にはそのCD等でどういう音源を使われているかということも、採択のときのやはり条件になるなと思いながら、それが今回ちょっとなかなかほかの教科でのQRコード、ウェブやデジタル的なその内容がまだまだ未整備のところも多かった印象も持ちますので、そういうところ辺も将来的には改善されるといいなというような印象は持つのですが、音楽に関しましては、今回の

教科書はより良いものであるという印象を持っております。

川那邊教育長

ほかどうでしょうか。

音楽では英語の歌なんかを入れてきていまして、この「教育芸術社」ですか。子どもたちには親しみのあるようなそんな英語の歌も出てきて、外国語活動との関連なんかも考えられているような、そんな感想も持ちました。

音楽についてはよろしいでしょうか。

それでは、音楽についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、図画工作科、御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

図画工作も2者からのみの選択になりましたので、二つ比べますと、もう一つの今回選ばれなかった方の「開隆堂」の方では、伝統的な技の紹介というか、そういう日本の伝統的な美術の紹介というのはあるのですが、やはりこれからの子どもたちがどの教科においてもアクティブラーニングをしていくところ辺で、非常に「日本文教」の今回選ばれた方がアイデアフルで、非常に発想豊かに取り組める内容であるなと思いました。また、この近くですと信楽等の陶芸の産地がありますけれども、粘土を使った紐づくりというような造形の方法なども紹介されており、今後子どもたちが将来に向けていろいろな造形にも親しんでいける内容が含まれていると感じましたので、今回の選定はいいなと思っております。

川那邊教育長

よろしいですか。図画工作。

稲垣委員

日本文教さんの方は、創造性をかき出すような、図工というのはやはり子ども一人ひとりの思いが表現される部分があるので、そういうヒントになるようなことがたくさん載っているなと思いました。

川那邊教育長

ほかに御意見ございませんか。

それでは、図画工作についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、家庭について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

家庭の方も2者のみの中での選択だったのですが、一つは「東京書籍」の「新しい家庭」、もう一つは「開隆堂」の「私たちの家庭科」なのですが、今回選ばれた「開隆堂」の方には、時間のマネジメントというようなところや、日常生活の中でいろいろ工夫していくことというようなこと。また、生活を支えるお金とか物、経済ですね。そういうことが身近な家庭と、それから社会

とのつながり、また自分自身が将来自立していく中で大事なポイントなどが非常に教えられている内容で、これから子どもたちが大人になっていく中で学ばべき内容が非常に含まれているなという印象を持ちましたので。今までの家庭科というと、どちらかというと料理をつくったり御裁縫したりというようなことも多かったのですが、もちろんそれも大事なのですが、そういう観点での内容があって非常に子どもたちにしっかり勉強してほしいなというような内容があったなと感じております。

川那邊教育長

ほかどうですか。

稲垣委員

ここも2者なのですけれども、家庭科もやはり実践する教科ですので、やはり基本的な学びを家庭でどれだけ実践できるかということにつながることが大事だと思います。その点、「東京書籍」さんは大きな本でたくさんの情報量はあるのですけれども、やはりこれは子どもが見つけてきてほしいこともたくさんあるので、その点、「開隆堂」さんはどこに気をつけてなぜ何々なのだろうという問いかけをもって、子どもたちに投げかけている点というのが優れているのかなと思いました。それから、なぜかページの下に英語がたくさん出てきて、英語に親しませるページもあるのかなという、これはもう余計なことでしょうけれども。それから、実際、中に書き込めるページなんかもございますので、いつもプリントや他のものというよりも教科書を存分に使う値打ちというものも見え隠れしているように思いました。

川那邊教育長

家庭科のページの下には全部、例えばここ、表紙ですと `h a t`、`c a p`、T シャツですと `T - s h i r t` とか、照明、`l i g h t i n g` とか、これ全部英語で書いているのです。「東京書籍」の方もそうなっているのですね。だから、外国語活動との関連を両方とも意識はされているようですね。

稲垣委員

それともう一つ。これから外国籍の子どもたちがどんどん増えてくると思います。やはり、日本語で繕うとか縫うとか言われてもなかなか分かりにくいのですけれども、この家庭科の教科書の後ろに、家族：`f a m i l y` とは何ページとか、そういうことが書いてあるということは、やはり外国籍の子どもたちにとっても見やすい教科書になっているという点も評価できるのではないかなと思いました。

川那邊教育長

QRコードについてはどうですか。

稲垣委員

これ、本当にQRコードがすごくたくさんありますので、料理の手順であるとか動画で出てきますので、本当にこれも外国籍の子にとっては言葉で伝えるよりも目から入る情報という方がいいですので、包丁はこう持ちましょう、こう切りましょうというよりも見せることが一番なので、そういう工夫は存分にされている教科書だなというのを感じました。

川那邊教育長

よろしいですか。

それでは、家庭について質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、保健について御意見、御質問はございませんか。

稲垣委員

保健というのは、体育科の学習の中の本当に年間10時間もない、数時間のものだろうと思うのです。その中で、けがであったり心の勉強であったりいろいろなことを入れていく中で、やはりこの教科書というのはとても重要だと思うのです。その点、選ばれたところは、書き込みがこの中にできていくということで、先生方全教科教えている中で、全てが全て準備できるわけではないので、こういうふうに用意されているとそこへ書いてみましょうとか、これやりましょうという形ですごく取り組みやすさがあるなと思いました。それから、学習課題というのがステップ1、ステップ2、ステップ3という形で、深まりがしっかりと書かれている点もよさではないのかなと思いました。

檀原委員

先ほど、事務局の方からの今回選ばれた理由の中にもありますが、やはり子どもたちを取り巻く環境というか、社会全体がいろいろな意味で以前とは違う要素を帯びてきている中で、インターネットのことやまたアレルギー、それから自転車の課題、今日的に非常に重要な課題等がこの教科書の中に書かれていますし、またある意味今のその小さいうちからしっかり認識していかなければならないような内容が含まれているというのが、以前の保健とは違う意味で大切な内容が取り上げられているということで、非常に重要なことだなと思います。

川那邊教育長

よろしいですか。

協議会の方では、LGBTへの配慮についてどうなのかという話もございました。確かにLGBTについて記述がされている教科書も複数あったのですが、ただ、その分量が少なかったり、載っているか載っていないかで採択に影響するという、そこまでのものではないだろうということで、観点があるのは大事だけれども、今後、学校の方でLGBTについては課題となるので、教科書プラスアルファのいろいろな資料を使いながらやっていかなければならない項目

だとは思いますが、教科書を採択するときの決定的なものにはならなかったということですね。

檀原委員

今、教育長がおっしゃったLGBTに関しましては、やはり教える側がしっかり認識しなければならないと思うのですけれども、同時に、子どもたちが初めてそういうことを学ぶ時期であったり、どういう学び方をすべきなのかというのはまだまだちょっと未成熟というか、教える側にもちょっとまだまだ研究の余地があるのかなと思いますので、今おっしゃったように、教科書に必ずしも取り上げられていることが必要かということ、もう少し検討も必要な部分があるのかなというふうな思いもあります。

川那邊教育長

よろしいでしょうか。

稲垣委員

もう一つ、やはり保健から見た理科であったり、家庭科であったり、道徳であったりということがわかりやすいようにその単元の最初に明示されていますので、本当に少ない時間を有効にするためには、他教科との関連の部分でしたり増やしたりすることが大事ですので、そういうことが書かれているというのは、指導者側としては大変子どもたちと一緒に勉強していくときにいいなというふうにも感じました。

川那邊教育長

私も久しぶりに保健の教科書を見たのですけれども、今の子どもたちが抱えている心の悩みであったり、あるいは体の問題であったりというのは、実はこの保健というのをしっかり学ぶことによって解決されるというか、子どもたちの心が癒されたりということがあると思うのです。例えば、体がリラックスすると心もリラックスするとか、思春期は誰もが悩むものとか。今後、この保健の教科書を使って、今の子どもたちの心や体の課題に対してしっかりと向き合いながら、自分を育てていくようなそんな学習が大事になってくるのかなというようにも感じて、授業での充実をお願いしたいなど、そんなことを感じました。

保健についてよろしいでしょうか。質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、外国語について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

今回、初めて教科化されるということで、今回は7つの出版社の中での検定になったわけです。「東京書籍」、今回選ばれた「NEW HORIZON Elementary」は、中学校で使われている「NEW HORIZON」と同じ会社で、そのつながりを感じるところで非常にそういう意味では小

中のつながりという意味ではいいのかなと思う反面、私の感想では、「東京書籍」の「NEW HORIZON」は、若干文法的な内容を教えるというところから辺が、ほかの教科書よりは多い目でごさいます、若干そのあたり心配するところではあります。ですが、3、4年生、中学年からの英語活動がスタートしていく中で、また中学校に入るといきなりそういう難しいものに移行する予備段階として、教科書の中にそういうことが入っているのも一つ悪くはないのかなという、非常に見ていて迷うところやったのですが、今回そういう教科書が選ばれたということで、その文法を教えるというのではなくて、ちょっとそういうふうなものイメージが少しできるという程度。教え方が重要だと思うので、配慮されながら使われるといい教科書かなというふうにも思いました。他にもたくさんの教科書がありまして、それぞれ国際交流とか多文化共生とか一つの地球の中に住んでいる仲間たちみたいなイメージの教科書も多くて、非常に魅力的なものもたくさんありましたし、英語はどちらかというと音声が大事ですので、音を聞いて比べたいなというところもあったのですが、若干そのままだまだ音の準備というかQRコードはついてはいるのだけれども、最終盤のQRコードではなくて、ちょっと仮につくられているような内容が多かったので、ちょっと比べられなかったことが残念なのですけれども、ある意味「東京書籍」の「NEW HORIZON」は、英語の教科書をずっとつくられた実績の中で今回は出してこられたので、そのあたりは王道かなというところ辺は感じます。ですから、使うときに英語嫌いをつくらないようにという配慮を十分されながら使っていただければいいのかなと感じました。

川那邊教育長

英語につきましては、草津市の教育の中でも大切にしている教科、あるいは取組でごさいます、確実に子どもたちは小学校からの学びを通して中学校で確実に力をつけてきていると。大変ありがたく嬉しく思っているのですが、学校の努力も。特にICTであるとか、中学校ではオールイングリッシュというのをかなり熱心にやっていただいて、私の時代の英語とは違うようならやましさやすばらしさを感じているのですが、特に草津ではICTの活用も盛んであると。小学校ではフィリピンとオンラインで結んで会話をしたりとか、ICTを使った、あるいはオールイングリッシュの英語が草津の特徴だとすれば、この教科書なんかは事務局の方から見て、今後の英語活動にどういうふう役に立っていったらいいのか。特にICTの関係で。

学校教育課長

ICTの関係から言いますと、QRコードがたくさん入っていますので、まだちょっと仮の部分はありますけれども、多分整備されていくと思います。それから、指導者のデジタルブックも1年間無料でついてきますので、そういう

ものも活用していけるかなという部分があります。教科書は教科書として当然これ利用していきますけれども、先ほど教育長がおっしゃったように、市としてのALTの配置でありますとか、こういうオンライン授業の部分でありますとか、それから小中連携で英語活動をしっかりしていこうという活動をしていますので、そのあたりのマンパワーというかその先生方の指導方法の工夫で、こういうものをうまく利用していきたいなと思っております。

川那邊教育長

この新しい教科書を使って、さらに草津の子どもが英語力を高めていってくれることを期待したいと思います。

ほかよろしいですか。英語。

周防委員

私もこの「東京書籍」の「NEW HORIZON」が実は一番難しそうに感じていたので、これが選ばれたのかと思いました。でも、バランスがやはり一番いいというような見通しがありまして、いきなり中学校で難しくなるよりも、さっき檀原委員もおっしゃっていたように、慣らしというかそういうのも大事なのかなと思いますので、ALTの先生とか現場の先生方の授業に期待したいというか、とにかく英語嫌いにならないように、楽しい授業を心がけていただけたらありがたいかなと思います。

川那邊教育長

今、話ありましたように、引き続き小学校、中学校との連携ですね。指導の連携であるとか、学習内容の連携とか、そういったものを進めていただきたいと思えます。

稲垣委員

たくさん教科書会社が出されたということは、それだけその会社ごとの特徴があると思うのです。檀原委員がおっしゃったように、やはりそれぞれのよさというのがあるので、選ばれた東京書籍のよさを生かしながら、やはりネイティブな発音というのを親御さんも期待されていて、就学前の親御さんとしゃべっているとすごい英語活動に興味・関心が高いのですね。下手な私の英語を話すよりも、やはりネイティブな英語を子どもにまず入れたいというのが保護者さんの願いのように聞き取りました。そういう意味では、QRコードから音声が発生される。これから改善される部分もたくさんあるのだろうけれども、それって大きいなということ。それから、5、6年は教科書があります。3、4年生は教科書がありません。その中学年から高学年へどうつなぐかというのが、はっきりと教科書が出たということは、そこへのつなぎというものも随分工夫する余地があるだろうなというの我也想います。それから、やはり特別支援の子どもたちにとって、新しいものというのは受け入れがたいところがたくさんあ

るので、どうぞ楽しく興味を持って学んでいけるような工夫を現場でいろいろしていただいているのだとは思いますが、既にいろいろなことやられておりますからね。でも、やはり教科書というものが出た以上、そこに乗っかっていってしまいますので、子どもたちが英語嫌いにならないように。さっき挙げていますように、楽しんでもっとやりたい、もっとしゃべりたい、もっと話したいというような持っていき方をしていただけるといいなと思いました。当然、教科になりましたから評価というのも出てきますので、その評価の部分でどういところをこれから評価されていくのかというの、教科書がある以上ははっきりしてくるものもあるし、3、4年生のように抽象的な部分もありますので、その辺のところ教育委員会でよく吟味していただいて、どの子どもたちも同じようにして中学校に行けるようなものも配慮していただく必要があるのかなと感じました。

檀原委員

それと、中学校になりますと、各教科で担当の先生がおられるわけなのですが、小学校ですといろいろな意味で、今まで英語活動はしたけど英語を教えるということを経験されていない先生がおられますので、やはり一人ひとり英語に対して持つておられるイメージは違うと思います。自分たちが学んできた英語をそのままやっていいのかということとか、やはり不安になられることとか、ある意味共通でこういうふうにしようということは、やはりこの教科書が決まったので、ある程度見通しを立てながら行ける、まだ半年以上時間ありますので、その辺も是非いろいろな意味で準備をしっかりしていただくことを是非望みたいなと思います。

川那邊教育長

ほかよろしいでしょうか。

それでは、外国語についての質疑は以上とさせていただきます。

続きまして、特別の教科道徳について御意見、御質問はございませんか。

檀原委員

今回、今まで使われていた学研の「新・みんなの道徳」から新たに日本文教の「生きる力」というのに変わったわけなのですが、話し合いの中で何か今回学研から変わったその何か理由みたいなのはありましたでしょうか。

川那邊教育長

事務局、いかがですか。

学校教育課長

1年で変わるということについてどうかということは調査委員会で一定話し合われました。その学研の方も今回の教科書では、かなり教材もたくさん変わっていますので、そういう意味で教科書会社に変更しても大丈夫だということと、変

わることで例えば教師の年間計画みたいなものをつくっているわけですが、それをまた新たな教科書会社用のものに変えなければいけないと、教師の手間がかかるなという話もありましたが、その教師の手間のことよりもやはり子どもに使いやすい教科書を選ぶべきだということで、その部分は排除して教科書をしっかり見ようということで選ばれた結果、第二採択地区の状況の中で、人権とか外国籍の子どもとかそういう部分に配慮されたものという部分、それから、ノートがついています。そのノートの自由度とか、そういう部分でこちらの方がいいだろうというようなことを選定されたということです。

川那邊教育長

よろしいですか。

檀原委員

今回、前回の道徳選定のときも、ノートがある方がいいのかとかいう話、結構意見が出ていました。この採択された日本文教のやつは、どちらかというところ少しワーク形式っぽいノートだなと、私自身の印象ですけども、があつて、ひょっとしたら選ばれる対象外かなと思っていたのですが、今回選ばれたということなのでですけども、それ以外にそれだけではなくて、心のベンチというところ辺のコラムとかコーナーがありまして、いろいろなテーマを取り上げた内容が書かれていたり、また、割といじめについては法律的な解釈なども入れて、いじめはしっかりなくしていこうという姿勢が非常に強く出ている教科書やなという印象を持ちましたので、先ほどもここに書かれていますが、やはり人権教育というところ辺の中でもしっかり取り上げられているなというふうには思います。ただ、今回道徳も前回新しく教科書がつけられたということがあつて8者という中での選定なので、非常にいろいろそれぞれ工夫されていることがあつたのですが、実際に道徳を教えていただいている先生方の中で選んでいただいた、1年以上経過した上での選定ということですので、その人たちの意見が非常に大事だなというふうにも思いますので、この教科書はいい教科書ではないかなと思います。

川那邊教育長

協議会の方では、やはり学研みらいを2年前に採択したのに、今回日本文教に変えるというその根拠を示してくれというような意見がございました。委員長からの報告では、学研みらいも多くの教材が幾つか大きく変わっているということで、今使っているからどうこうというより、ゼロから発想して協議をしたという、そんな意見がございました。その中で、日本文教がいいのだろうということでした。それから、もう一つは、ノートについては草津からも、私たちの学習会では、ノートを使うと授業が一律的になってしまつて、余りおもしろくないのではないか。授業をやる者としておもしろくないのではないかとい

う意見から、余り肯定的な意見は私たちの学習会の中では出なかったのですが、委員長によりますと、道徳には評価が出てきたと。一定の記録を残しておくことが必要だし、それからノートの中身も以前より少しまた改善もされているので、それから調査委員の中ではやはりノートがあるという意見が多かったというようなことを聞かせていただきました。そんなことで、特に委員長の方からノートの使い方についてはまた教育委員会やら学校でしっかりと指導をしながら、より良いものにしていかなければならないというような意見もございましたので、そこはまた事務局の一つの指導の責任として、使命としてノートの指導についてもしっかりと指導をしていただきたいと思います。

ほかいかがでしょうか。

稲垣委員

昨年採用されてまたということで、年間計画をつくる側にすると大変また苦労が始まるなどというのはあるし、せっかく採択されたものが今回変わったということには、いろいろな意味合いがあるのだなというのは今、お話を聞いてわかりました。それで、今回採用された日文さんの教科書ですけれども、目次を見ますとどの教科書も4観点で教科書中のいろいろな印ということで、自分のこと、友達と気持ち、自然や美しさという4観点は必ず明記されているのですが、さらに安全な暮らし、人との関わり、情報モラルというような感じで、ポイントをまとめておいてくださいますので、必ずしも1から35時間ですから順番にやる必要はなく、今タイムリーにこの教材ということは選べると思うのです。ただ、教科になりましたので、これ差しかえてこれというふうにはならないところの、すごく教える側にしたら今このことをこうして教えたいなというのは、ちょっと教材が変わるのだなというのは、教科制の問題でしょうけれども、ただ、情報モラルというふうに書いてあると、草津市はICT教育熱心にありますから、こういうところは一番に抑えたいところなので、こういうところから切り込むときにこの教材をやればいいんだなというのはすぐ見やすいなというのを一つ思いました。それから、ノートというのもいろいろ教科書会社で工夫されているのですが、指定されて書くよりも、やはりこういうふうなワークシート的なものの方がいいなというのは、私も思います。しかも、縦線と点線とあるので、使いやすさがいろいろある。ここに絵を描くなら描いたらいいだろうし。ここに課題が一つ挙がっているのですが、これ微妙に課題と線との間が少しあいていますよね。この課題についてはここに書けるわけですよ。先生がこのクラスで教えたいところに持っていきたいときには、この余白を使えるという。すごい工夫がしてあるなというのを今改めて見て思ったのですが、そういうよさが採用された一つだったのだらうなというのは思いました。それから、後ろにもいろいろな付録としてお話がありますので、これは差

しかえ可能なのだなというのを感じました。ただ、年間計画の工夫を教育委員会の方でバックアップしていただくなり、良い方法で書けるようにしてあげていただけたらと思います。

川那邊教育長

よろしいでしょうか。

檀原委員

ちょっと道德だけに限らないのですが、今回今道德で一応最後の小学校の教科書になるのですが、1冊もこの会社から選ばれなかった中に教育出版があるのですが、割といろいろな教科書を出しておられる会社で、そちらの方は割と既にもうリンクがありまして、学びリンクというところに行きますと、各教科、またそれは教科書をダイレクトでピッと飛ぶというよりは、もう普段からちょくちょく見にいけるようなリンクがあって、ちょっとユニークだなという感想を持っていたので、今回教育出版が1冊も選ばれなかったのも、そこになかなかアクセスすることはないわけなのではございますけれども、そういう一つの特徴があったので、どこかで選ばれたときには紹介したいなと思っていただけなかったもので、一応この場を借りて最後に、こんなんあったよということだけはちょっと報告します。

川那邊教育長

あと、これで教科については道德で終わりなのではございますけれども、全体的に何かございますか。

稲垣委員

質問なのですが、教科書のサイズが違うのは、それはわざと会社がいろいろ考えて、それは工夫の一つなのですか。これだけものすごく大判になってあるという、何かすごいカラフルになったのだけれども、実際子どもたちのランドセルも工夫されて大きくなっていますけど、これを毎日持って通う姿を見ると、大変だと感じないでもないですが、そのうち教科書要らんようになるかなというのを期待したいなというふうに思いました。

川那邊教育長

ちょっと感想的なもので結構ですので、ございますか。

子どもの顔も大きいのが載っているのがたくさんあるんですね。これ、毎日毎日同じ顔を見るというのも。イラストならいいけど、その辺もどうなのかなとかいう。私たち以前話もしたことあるのですが、大きく変わっていますね。大きさといい重さといい中身といい。教科書の大革命が今年にあったような。QRコードが入ったというのが一つ大きな。

檀原委員

先ほどのちょっと繰り返しになって申しわけないのですが、今回検定の採

択をする作業の中で、私たちもそのQRコードがあるからやはりそこをアクセスしてみることが多かったのですが、まだまだ準備されていないところが余りにも多くて、ちょっとそれを参考にできなかったことが非常に残念だったので、またそういうことを何かの場面で話し合うところがあれば、是非そういうものもできればそれまでに間に合うように。全部が無理やったら、例えば学年とか単元絞ってでも、フルで見られるどこかがないと、やはり比較するには難しいと思うので、是非そういうことは考えてほしいなということは思っております。

川那邊教育長

教科書の歴史を見ますと、1,600年代にコメニウスという人が世界図絵というのをつくったのです。そこに初めて絵が出てきたのです。教科書に絵が出てきたのです。それから400年弱たって、今外国はわかりませんが、日本ではQRコードなのです。ですから、子どもたちの興味とか楽しさ、わかりやすさというので、今回の教科書というのは画期的だなという見方もできると思います。これからまたQRコードも充実するであろうということですので、今後大事な観点の一つになるような気もいたしますね。

何かよろしいでしょうか。感想的な。

周防委員

感想なのですが、採択の観点として多様性の尊重とか、人権尊重とか言われているのですが、例えば挿絵とか写真とかに外国籍の子どもの写真とか絵があるとか、車椅子の絵とかお年寄りとか子どもとかがさりげなく入れられているとか、あと女の子がズボンを履いているとか、そういうところも多様性とか人権として着目されているのもそういうものなのかなぐらい感じていたのですが、そんなに余りにしてなかったのですが、やはり子どもが毎日持っていくもので、そういう絵というのが自然と入ってくるので、そういうところが挿絵なのですが大事なかなと思いました。

川那邊教育長

私たち、教育委員で学習会を複数回開いて、さまざまな教科書に触れたり事務局からの説明を聞かせていただいたりで、一定の学習もしてまいりました。一応、今回採択となるわけですが、もし採択されれば、事務局にお願いなのですが、学校の方にいち早く情報を伝えて、そしてその学校の先生方が次の教科書を見て自分の授業を変えたり、あるいは構想したり、そういう材料にしていきたいなと思いますし、先ほど申しましたように、今回のこの教科書の改訂が、子どもたちの教育の充実に大きく役立つような、そんな指導をお願いしたいと思います。

それでは、次、よろしいですか。感想は終わりました。

それでは、続きまして、小学校特別支援学級で使用する教科書について御意見、御質問はございませんか。

学校教育課長 一般図書は一応、こちらに用意は1冊だけですけど用意してあります。まず、小学校の方四つ挙げております。

川那邊教育長 何かございますか。

稲垣委員 これ1冊ずつ、知的学級とか支援学級の子どもたちは、これがもらえるんですか。

学校教育課長 一般図書ですので、それを教科書の一つとして選んでもいいということですが、けれども。

稲垣委員 教科書として児童が持つのですね。これは。

学校教育課長 そうですね。

稲垣委員 この教科書もありますけれども、こういう教科書でも勉強するという。その何社かある中から選んでいつている。

学校教育課長 そうです。はい。

川那邊教育長 今回選定された私の手元にあるThe Rolling Rice Ball というのがあるのですけれども、これ全部英語なのですよね。これ。これどういう使い方を予想されるのですかね。教員やALTとか一緒に読むとかいうことなのでしょうか。

学校教育課長 そうですね。読んでもらいながらその絵本みたいな形で聞いたりとか見たりとか、そういう形になるのかなという想定はされますが、ちょっとそこまで詳しくは分かりません。CDもついていますので、それを利用しながら学習します。

川那邊教育長 CDつきと書いていますね。

稲垣委員 どれか1冊が無償になるということですよ。採択したものを。

学校教育課長 そうです。その中から選べるということです。

川那邊教育長 どの本も楽しそうで、CDとかがついていると、余計に子どもたちも興味を持つかなという感想を持ちますね。

稲垣委員 これは歌です。

川那邊教育長 歌ですね。これですね。

稲垣委員 これはアルファベットを勉強するもの。これは日常会話ですね。わかりました。

川那邊教育長 特に質問、質疑はございませんか。

檀原委員 今、4冊の採択があったわけですが、これはもうどれかというのは、その子どもたちに応じて選んでいただけるわけですね。

学校教育課長 そうですね。

檀原委員 そうですね。その4冊は全部その教室の方に見本としてその先生が選べるように見るチャンスはあるというふうに考えていいのですか。

学校教育課長 こちらに今置いておくのと、一般図書で売られているものでもあります。図書館にも置いています。

檀原委員 最初に子どもさんと先生が組み合わせというかクラスが編成されたときに、この子にはどういう教科書が合うかなということをイメージできるまでのこの時間的なものと言うたら変ですけど。パッとこれがいいなというのが選べるならいいのだけど、なかなかその辺、割と内容に差があるといったら変ですけど、字だけ見ていると非常に難しそうなやつと、それから、音があったらそれを楽しめるといような内容とあると思うのですが、この辺を是非丁寧にというか上手にやっていただけることを期待したいなと思います。内容的には非常に図版もきれいですし、音から入ってきて子どもたちが英語を楽しめるといものであればいいなと。あれだけで全部やるというのは難しいところで、言うたらおかしいですけど、先生のいろいろな工夫が必要になると思うので、是非ま

たそういうところ辺で、教科としていった以上、今までやったらこういうことが必要なかったことが、これが必要になってくることもあると思いますので、情報共有であったりちょっとした学習の機会とかも今後考えていただくことが同時に必要なのかなということを、今ちょっと教科書を見ながらですけども思いましたので、必要な方、子どもたちが楽しめない時間ではなくて、英語とともに何か自分が育っていけるということに十分配慮いただけるようにしていただけたらなと感じました。教科書そのものに関しては、もう非常に知的な本ばかりだなと思います。

川那邊教育長

それでは、小学校の特別支援学級で使用する教科書について、質疑は以上とさせていただきます。

次に、中学校の特別支援学級で使用する教科書について御意見、御質問はございませんか。よろしいでしょうか。お願いします。

檀原委員

今回、道徳について新しく2冊ということです。「卒業しよう！めんどくさがり 学校では教えてくれない ピカピカ 自分みがき術」というのと「こころを育てるおはなし101」というその2冊一般図書としても、中からということであったのですが、それぞれ題名を見ている限り非常にそれぞれやはり自分の生活がなかなか1人でできない子どもたちが取り組んだり、また場合によっては自分が置かれている状況の中で、少しでも学べる中身が書かれている本やなということは、題名から見て想像するわけなのですが、この選定のときに何か意見等があったら、選ばれている中でこの本が適当であるという何か話が出ていたらちょっと紹介いただければと思います。

学校教育課長

中学校のこの道徳については、4冊以前に選定されていました。そのうち2冊が供給不能というかも出ないということで、その2冊を入れかえようということでした。何か適切なものはないかということで選定されました。「卒業しよう！めんどくさがり」という部分については、めんどくさいというその身近な感情をうまくつき合っていけるような手だてがわかりやすく示されていて、より良い生き方を探っていけるのではないかということとか、日常的にめんどくさいなという感情が出てくるあたりのところを題材に、うまく系統を立てて構成されており、1時間でうまく扱えるのではないかというようなところ辺が選ばれた理由です。「こころを育てるおはなし」については、生徒の発達段階に合わせて、楽しみ方というところでさまざまなお話を選ぶ工夫がされています。1から4に進むにつれて、緩やかに段階を進めるというふうなこと。それから、多様な考え方や感じ方に接することができて、物事を多面的に考えるこ

とができるというふうなところがいいところだと捉えています。

檀原委員

今、ちょっと2冊のことしか言えなかったのですが、あと「こころのふしぎ なぜ? どうして?」と「イラスト版 気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング」という4冊ですね。

学校教育課長

そうですね。

檀原委員

やはり、子どもたちの中にはやはりコミュニケーションがなかなか苦手になっている子どもがいたり、また先ほど新しく差し変わった自分たちの生活の中でルーズになりがちなところを自分でできるようになろうという具体的な話が学べるという教材であるということに関しては、非常に適切な本であるというふうに思います。ですけれども、同時に道徳科で今回扱われている中には、やはり中学校になるといろいろな自然であったりとか、いろいろな人と人との中で社会が成り立っているということであったり、またいじめというようなテーマも同時に必要になってくると思います。それぞれの教科書に全てそれが含まれているかという点、多分重きを置かれているところが少し違うところもあると思いますので、1年間を通して教える、この教科書を選んだということの中で足りない部分であったりとか、これは是非この教科書以外に学ぶべきものがあるということは、是非子どもたち一人ひとりに応じて違うとは思いますが、是非工夫していただけるように、これだけを教えるということではなく、これをベースにしながらみんなに学んでいけるようされることを期待したいなと思います。

川那邊教育長

よろしいですか。

それでは、特別支援学級については以上でよろしいでしょうか。

それでは、もう一つですが、今回は草津市立小中学校使用教科用図書の採択についてでございます。議案書には今の中学校の教科書も出ておりますが、中学校につきましては、来年度採択替えの年でございます。2年続けての採択替えというのは、子どもの混乱を招くという可能性があることから、あるいは学校現場にも負担になるということが考えられます。したがって、現在学校現場よりこの教科書について不都合という声が上がっておりませんので、これまでの実績を踏まえて現在使用の教科用図書を中学校は来年度も採用するという点で、先日の協議会では回っておりますが、それでよろしいでしょうか。

檀原委員

基本的にはそれでいいのではないかと思います。同時に、やはり新しい教

科書の方には、小学校同様QRコード等が寄与されるのかなと思うのですが、その辺について何かお聞きされていることがあったらちょっと御紹介していただければ。今のところそういうようなのは。

学校教育課長

今のところは、来年度のことですので情報等は今入ってはおりません。

檀原委員

わかりました。

川那邊教育長

それでは、以上で種目ごとの質疑を終了いたしますが、先ほど少し全体的な感想もいただきましたが、さらにつけ足しておくことはよろしいでしょうか。

それでは、お諮りをいたします。本議案につきまして、教科用図書第二採択地区協議会の決定に基づき、原案のとおり可決いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

川那邊教育長

異議もないようですので、議第43号は原案どおり可決いたします。

以上をもちまして、本日の議事は終了となりますが、ほかにございませんか。

それでは、これもちまして8月臨時会を終わらせていただきます。

次回は、9月30日、月曜日、午後3時から定例会を開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

閉会 午前 11時20分